

報道関係各位

2013年5月23日
日本アキュレイ株式会社

京都府 蘇生会クリニックにて
「サイバーナイフ ラジオサージェリーシステム」の導入が完了
—近隣エリアにおける治療選択肢がより充実—

日本アキュレイ株式会社（社長：穂積 重紀、本社：東京都千代田区）は、医療法人社団蘇生会 蘇生会クリニック サイバーナイフセンター（理事長：津田 永明、所在地：京都市伏見区）における放射線治療機器「サイバーナイフ ラジオサージェリーシステム」（第4世代）※1の導入が完了し、治療が開始されたことをお知らせ致します。

※1 本システムは、2010年、サイバーナイフシステムの第4世代として厚生労働大臣による薬事承認を得ました。
今回の設置は、日本における9番目の第4世代導入です

京都府の地域中核病院である蘇生会総合病院の関連施設、蘇生会クリニックは、前世代サイバーナイフによる放射線治療を2004年に開始しました。京都府唯一のサイバーナイフ導入施設として、周辺地域の患者さんに頭蓋内・頭頸部治療を提供してきましたが、第4世代の導入により患者数が増加傾向にある肺癌をはじめとする体幹部治療も積極的に行うことが可能となります。同クリニックでは、今回の導入を受け、5月13日よりサイバーナイフによる治療を再開しています。

今回の第4世代のサイバーナイフ導入の目的と今後の予定について、津田理事長は「当院では、地域の皆様に確実かつ安全な治療を提供することと並行して、地域をこえた予防医学や最新の医療も心掛けてきました。その一環としてサイバーナイフによる治療実績を積み重ね、今回、体幹部治療にも対応できる体制を整えることで、患者さんに治療の新しい選択肢を提供することを目指しています。まずは従来から行ってきた頭蓋内、頭頸部の治療から再開した後、肺や肝臓など体幹部の治療を新たに開始する予定です」と語っています。

サイバーナイフシステムのテクノロジーは、頭蓋内・頭頸部に加えて体幹部病変にも、主に体幹部定位放射線治療（Stereotactic Body Radiation Therapy：SBRT）を提供します。また、動体追尾システムを搭載し、照射ターゲットを高精度で捉え有効線量を照射することが可能で、重要臓器や正常組織に隣接した腫瘍の治療も可能にします。



蘇生会クリニック サイバーナイフセンターについて

蘇生会クリニック サイバーナイフセンターは、医療法人社団蘇生会の関連施設の1つとして2002年に京都市伏見区に開設されました。2004年より頭蓋内・頭頸部を対象にサイバーナイフによる治療を行っています。蘇生会は、1952年の蘇診療所開設以来、地域医療に取り組む歴史ある医療法人です。 (<http://www.boseikai.or.jp/knife/>)

アキュレイについて

Accuray Incorporated (NASDAQ: ARAY)は、本社をカリフォルニア州サニーベールにおく放射線腫瘍学の企業です。同社は、患者さんのより長く、より良い生活の支援を目標とし、標準治療となる患者さんごとの革新的な治療ソリューションを開発、製造、販売しています。同社の先端的技術はあらゆる範囲の放射線療法、放射線手術治療を提供することができます。現在までに、693台のシステムが世界の有力病院に設置されています(2013年3月末現在※2)。

日本アキュレイ株式会社は、Accuray Incorporatedの日本法人です。日本アキュレイ株式会社の本社には、医療従事者向けトレーニング施設「Accuray Technology Exchange Center (ATEC/エイテック)」が併設され、医療従事者向けのトレーニングにも力を入れています。

※2 サイバーナイフシステムとトモセラピーシステムの合計

第4世代サイバーナイフシステムについて

2010年7月に薬事承認を受け、同年10月より販売を開始。販売名「サイバーナイフ ラジオサージェリーシステム」。線量率を前世代の2倍とし、コリメータの自動変換機能の新規搭載や治療計画装置における新しいアルゴリズムの採用など、体幹部治療に適した仕様となっています。

本件に関するお問い合わせ先

日本アキュレイ株式会社 マーケティング 武田 卓子/相子 純子
TEL : 03-6265-1544 FAX : 03-3272-6166
ttakeda@accuray.com / jaiko@accuray.com

参考資料



蘇生会クリニック サイバーナイフセンターに新たに設置された国内 9 番目となる
放射線治療機器「サイバーナイフ ラジオサージェリーシステム」(第 4 世代)

※ 画像はイメージ